



全国に美味しいお茶と笑顔をお届け

萩原 佳奈 さん



PROFILE はぎわら かな (19・比木原) 調剤薬局に勤務しながら第6代目茶娘として活躍中

お茶の香りが好きなんです

「今はペットボトルでいつでも気軽に、お茶が飲めるので、各家庭でお茶を急須で入れて飲むことが少なくなりましたよね。でも、私はお茶を入れた時の香りときれいな色や、お茶を使ったお菓子が大好きなんです」こう話すのは今年から茶娘に選ばれた萩原佳奈さん。

茶園が広がる地域に育った佳奈さんは「お茶はいつでもそばにあるもの、毎日飲んですすよ」と笑顔で話す。

先輩の姿に憧れて

「茶娘に応募したのは、先輩茶娘さんたちが大産業まつりなどのイベントで笑顔でお茶を宣伝している姿を見て、私もたくさんの人にお茶の良さを伝えることができたなら幸せだなと思ったことがきっかけです。イベントで見た先輩たちの笑顔にはまだまだ及びませんが、これから精いっぱい笑顔と元気でPRしていきたいと思います」と熱い思

いを語ってくれた。

「外食先で子どもたちがご飯と一緒にジュースを飲んでいる姿をよく見かけますが、成長途上の子どもたちにはジュースよりもお茶を飲んでもらいたいです。子どもたちの成長にとって、お茶は優秀なんですよ」と思いを語る。

入れ方一つで味が変わる

「お茶は品種によって味や香りが全然違うんです。同じ茶葉でも入れ方次第でおいしい味になるんですよ」という。

お湯の温度は70度、1人分の茶葉はティースプーン1杯。急須にふたをしたら1分待つとお茶本来のいい香りが立つのだそう。

「注ぐときは慌てずゆっくり時間を掛けて最後まで注いでください。最後の一滴にはうまみがたくさん入っているんです。忙しいときでもゆっくりにお茶を飲んだら、1日の疲れが取れますよ」とアドバイスをしてくれた。

イベントで佳奈さんの笑顔に出会えるのが楽しみです。